



# 創造力

鉛筆画家

藤田 明さん

(静岡市葵区)

珈琲・紅茶専門店 Scene  
(浜松市中区) 31日まで

「Slow Airs#6」

## 独創的な「かたち」発掘

古代文明が残した地上絵にも、宇宙を漂う人工衛星のようにも見える独創的な「かたち」の数々。見る人の想像力をかき立てるのは、鉛筆画家藤田明さん(53)＝静岡市葵区＝の作品だ。「筆記用具としての出番は昔より減ったが、鉛筆にできる表現はまだたくさんある」と語る。

教本に「種類によって書き味が異なる」と書いてあるのを見つければ「変なスイッチが入った」。芯の硬軟や色の違いなど奥深さに魅了されて世界各国の鉛筆を収集し始め、現在は15万国70ブランドの約6千本を手元に置く。

「洞窟の壁の凹凸にヒントを得て動物や人を描いた太古の人と何ら変わらない。紙の中に元々埋もれていたイメージを、鉛筆でこつこつ発掘していく感覚に近い」

「似たような活動に没頭したい」(柏木かほる)



見る人にとってさまざまな解釈ができる。余白のある絵を描きたいと語る藤田明さん(静岡市葵区(写真部・杉山英一))